

小中学校の校務改善

今年度の取組

学校に求められる役割の拡大と多様化

- ・時代の変化に対応した授業革新
- ・いじめや問題行動への対応
- ・特別支援を必要とする児童の増加
- ・不登校児童の割合の増加
- ・保護者対応

教員の多忙化

○OECD国際教員指導環境調査

- ・日本 53.9時間（参加国中最多）
- ・OECD平均38.3時間
- ・授業時間はほとんど同じ
- ・業務時間が非常に長い

校務改善は何のため？

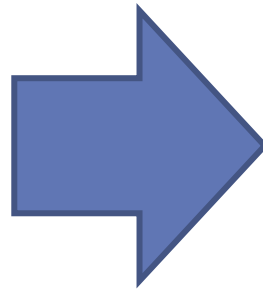
子供と向かい合う時間の確保
～教員は、教員本来の仕事を～

学習指導 質の高い授業を行おう！

生活指導 子供としっかり関わろう！

校務改善

組織的な
校務の遂行



教育の充実

校務改善推進プラン

平成24年3月 策定

- 平成19年「副校長・主幹教諭の職務等に関するアンケート調査」
⇒副校長の90%・主幹教諭75%が多忙感
- 平成21年度 主任教諭制度
⇒学校の組織的運営に向けた体制づくり
- 平成22年度 業務実態の現場調査とヒアリング
⇒副校長の多忙感の要因の分析
⇒「小中学校の校務改善の方向性について」
- 平成23年度「東京都公立小中学校校務改善検討会議」設置
⇒様々な施策の有効性の検討

校務改善

昨年度までの取組

平成24年度

- ◆ 校務改善が不断の取組となるための方策について検討

平成25年度 【重点取組……ICT化の推進】

- ◆ ICT化の推進のための取組について検討

平成26年度 【重点取組……校務推進OJT】

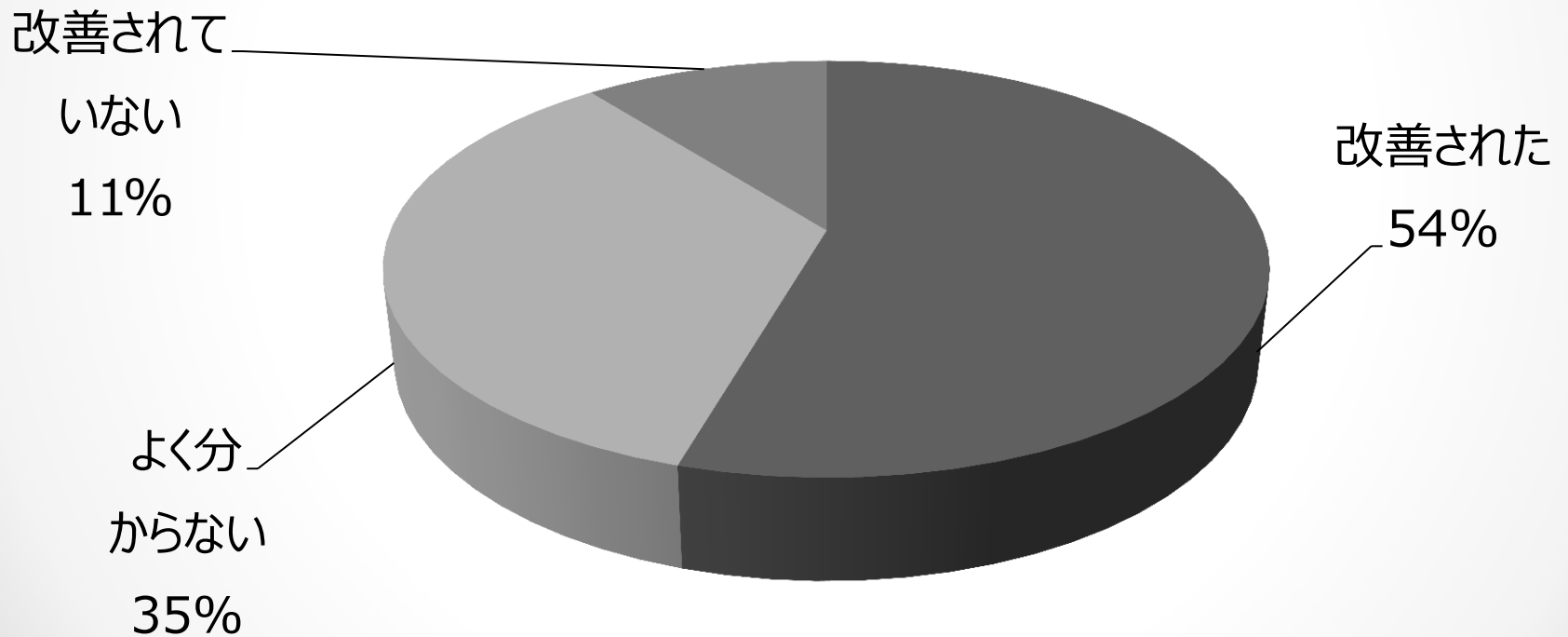
- ◆ 校内推進OJTのための取組について検討

平成27年度 【重点取組……効率的な運営】

- ◆ 効率的な運営と確実な業務遂行のための取組について検討

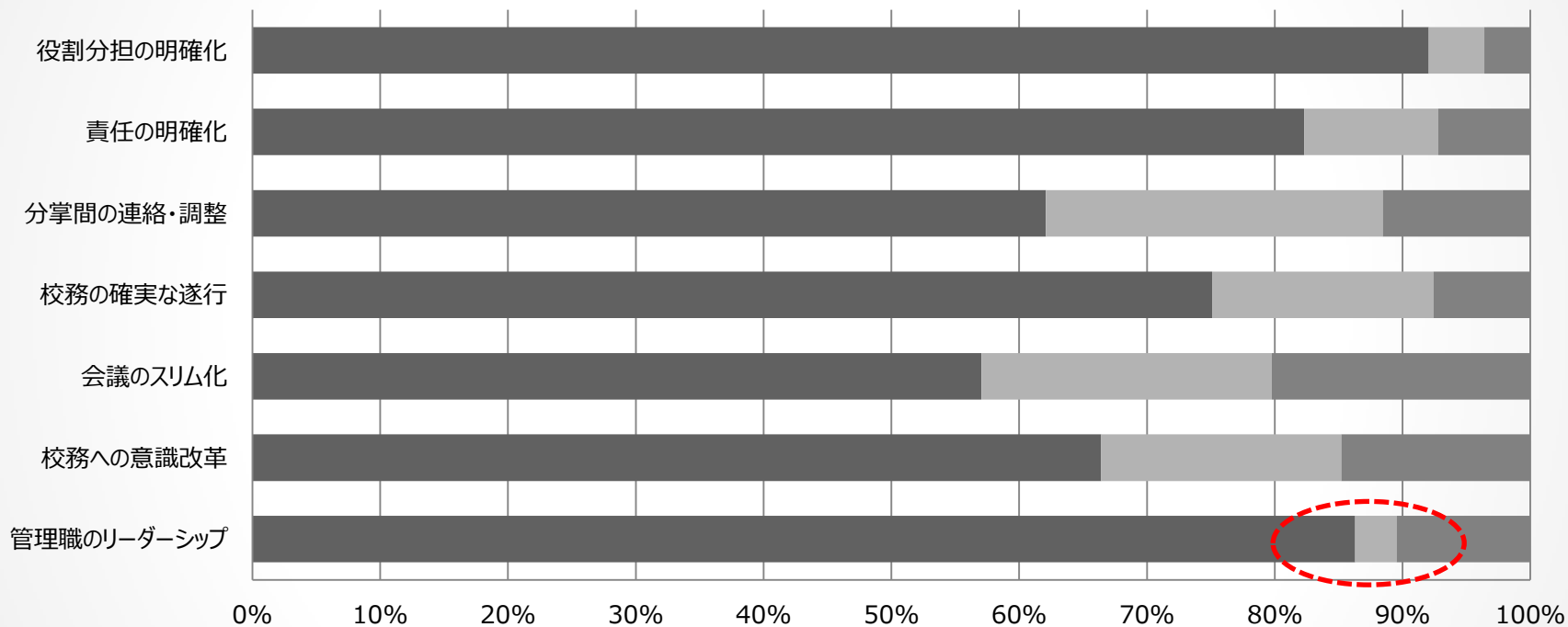
今年度テーマ

学校全体の校務改善



管理職のリーダーシップ

◆ 改善されている学校の実施状況



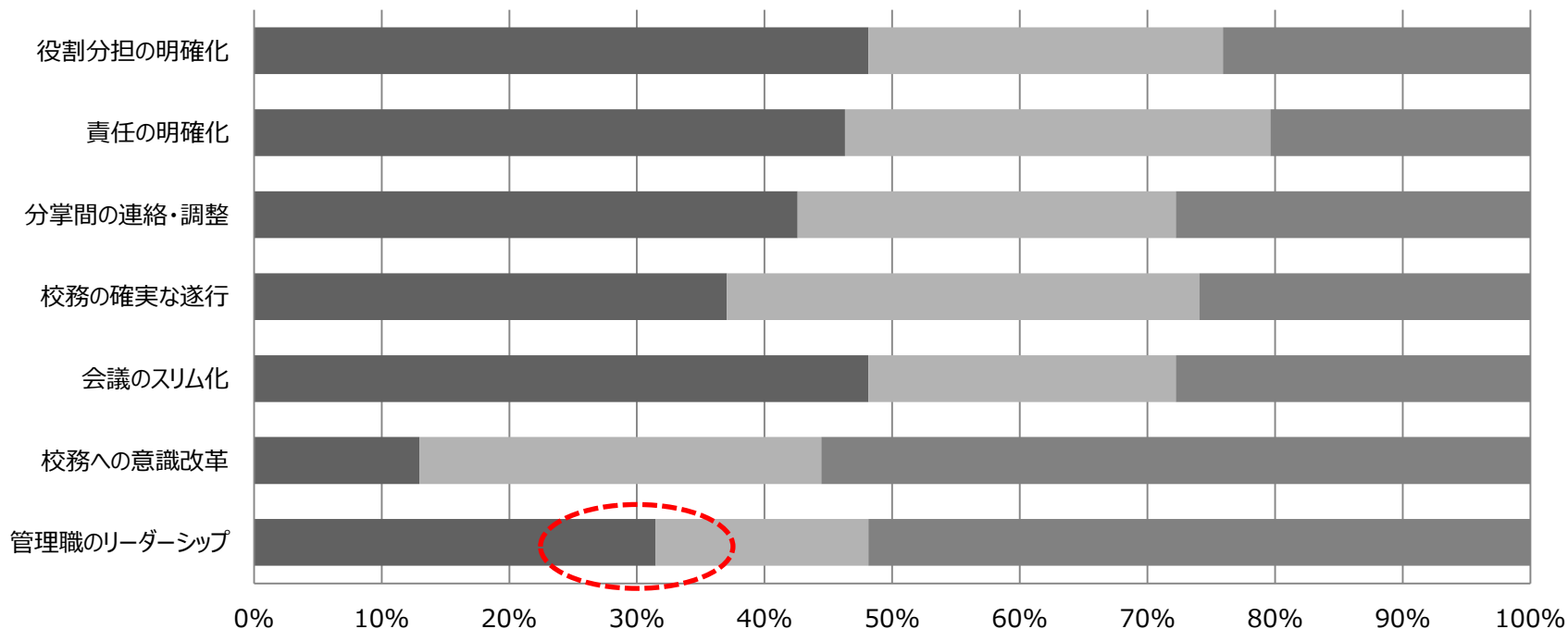
■ 取り組んでいて効果
をあげている

■ 取り組んでいるが効
果が上がっていない

■ 取り組んでいない

管理職のリーダーシップ

◆ 改善されていない学校の取組状況



■ 取り組んでいて効果をあげている

■ 取り組んでいるが効果が上がっていない

■ 取り組んでいない

テーマ：経営支援部を機能させる校長のリーダーシップ°

推進の取組方法

方法：アンケート、ヒアリング

目的：経営支援部を機能させ、校務改善を進めていくための校長のリーダーシップについて、具体的な方策等を明確にし、発信していく。

対象：経営支援部設置校

内容：各段階でのリーダーシップ



アンケート、ヒアリングのポイント

◆ 立上げの前段階におけるリーダーシップ

- 現状分析、向かうべき方向と目標の提示
- 職員への働きかけ（課題意識の共有） 等

◆ 最適な組織づくりの段階におけるリーダーシップ

- 個々の職員の資質・能力の活用
- 人材育成
- 事務職員等の活用 等

◆ 運用・改善の段階におけるリーダーシップ

- コミュニケーションの活性化、良好な雰囲気づくり
- 意欲の向上につながる取組、参画意識の醸成 等



○ 効果的な取組の収集・整理、周知

◆校務改善におけるリーダーシップ手法の普及

推進の取組効果

～校務改善に寄与する校長のリーダーシップ手法の強化～

- 実質的な業務改善（効率化）による時間の創出
- 教職員の意識改革（学校運営への主体的な参画）
- 組織風土改革 ～次世代の学校～ を視野に入れた組織改革

～子供と十分かわれる学校の実現～

- ・時代の変化に対応した授業革新
- ・いじめや問題行動への対応
- ・特別支援を必要とする児童への対応
- ・不登校児童への対応 等

小中学校の校務改善の推進

経営支援組織
(経営支援部)

<実践報告>

◆ 平成27年度校務改善表彰

- ・ 荒川区立峡田小学校

◆ 平成26年度校務改善表彰

- ・ 武蔵村山市立小中一貫校村山学園

◆ 先生いきいきプロジェクト

- ・ 武蔵野市教育委員会